（様式１：令和３年２月改訂）

令和７年度「長崎県教育委員会服務規律強化月間」実施結果報告書

所 属 名	雲仙市立大塚小学校	作成者	職名	教頭
電話番号	０９５７－３８－３０２８		氏名	織田　靖子

１　年間の実施内容（取組状況・実績等）

４月	実施テーマ	○交通事故防止と緊急時の対応 ○セクハラ、わいせつ行為の防止 ○情報セキュリティポリシー対策の徹底 ○公金等の不正処理の防止

取組の評価・改善点

「交通事故防止と緊急時の対応」においては、出退勤時のゆとりをもった行動と通勤経路の確認及び緊急時の対応について確認した。「セクハラ、わいせつ行為の防止」においては、自己分析チェックシートの意義と実施についての声かけを行った。「情報セキュリティポリシー対策の徹底」においては、雲仙市情報セキュリティポリシーの周知及び整理整頓と情報漏洩・紛失防止の啓発を行った。「公金等の不正処理の防止」においては、現金を放置せず集金した現金は速やかに業者等へ支払いを行うことを確認した。職員は研修に真剣に取り組むことができた。

８月	実施テーマ	○ハラスメントの根絶 ○体罰の禁止

取組の評価・改善点

「ハラスメントの根絶」においては、これまでの通知通達を基に、具体的な事例を用いて研修を実施した。「体罰の禁止」においては、法令や事例を再確認し、アンガーマネジメントについても学ぶことで有意義な研修を行うことができた。

１２月	実施テーマ	○飲酒運転及び酒気帯び運転の根絶

取組の評価・改善点

「教職員のためのコンプライアンスハンドブック」及び「コンプライアンス通信」等を活用した研修を行い、飲酒運転及び酒気帯び運転の根絶について職員で再確認することができた。

２　服務規律委員会

委員会名	服務規律委員会
構 成 員	所属内委員（５名）、外部委員（１１名　役職等：学校運営協議会委員）

３　年間を通しての計画の達成状況

年間を通しての取組状況チェックリスト

(1) 校内研修の実施方法については、職員会議等での管理職員からの指導のみではなく、別表のような工夫を取り入れながら研修内容の充実を図ることが求められます。取り入れた工夫を別表の記号（ア～コ）で回答ください。（複数回答可）

ア	イ	エ	オ	カ	キ	ク			

その他（ア～コ以外で研修に取り入れた工夫があれば記入ください。）

(2) 不祥事根絶に向けた職員の意識が維持・継続されるような心に届く取組ができたか。

※ 該当する項目に○を記入ください（以下同じ）。

（○）できた	（　）概ねできた	（　）少し不十分	（　）できなかった

(3) 職場の連帯強化と働きやすい職場環境づくりに繋がるような取組ができたか。

（○）できた	（　）概ねできた	（　）少し不十分	（　）できなかった

(4) 心と性に関する自己分析チェックシートは正直に回答できる環境下で実施されたか。

（○）できた	（　）概ねできた	（　）不十分だった	（　）実施してない

資料添付	有　・　(無)

【 工夫（例)】
ア　運営の工夫
　・管理職員の指導中心の研修から、服務規律委員会が主導して運営する研修に運営方法を変える。
イ　具体的な事例の紹介
　・県内で起こった事案や他県での類似の事案など、具体的な事例を用いる。
ウ　外部講師を招いての講話
エ　体験的な研修
　・ロールプレイを取り入れる。
オ　グループ討議
　・小グループに分かれての事例研究、討議を行う。
　・「ヒヤリ・ハット」した体験や普段から心掛けていること等を発表し合う。
カ　ワークシートの作成
　・何が原因か、不祥事を起こした場合の影響、未然に防止するための方法等を記述する。
キ　チェックリストを作成
　・チェックリスト（アンケート）を用いて自己点検を行う。
ク　ファイリングして保存
　・各教職員が通知文や研修用資料をファイリングして活用する。
ケ　決意表明
　・全教職員連名の決意表明文又は個人ごとの宣誓文を作成する。
コ　職場の連帯意識の醸成と働きやすい職場環境づくりに繋がるような取組
　・川柳や標語を募集して主体的な取組となるよう工夫する。